

2017 年 基礎から学ぶ空間情報学講習会 開催報告

一般社団法人 日本写真測量学会 関西支部では、平成 29 年 8 月 4 日（金）に「基礎から学ぶ空間情報学講習会」を開催しました。本講習会は、大阪府立大学 I-site なんば（大阪市浪速区）を会場とし、32 名が参加しました。

本支部では、「デジタル写真測量」・「衛星リモートセンシング」・「レーザ計測」・「地理情報システム(GIS)」を主なテーマとし、基礎から応用までを包括的に学ぶことができる講習会を、2013 年より、年 1 回の頻度で継続的に開催してまいりました。本講習会は、3 年を 1 つのサイクルとして、1 年目に 4 つのテーマの基礎編を、2 年目および 3 年目に 2 つのテーマの基礎から中級編を実施してきました。2 回り目の 2 年目となる今年は、「写真測量」と「衛星リモートセンシング」の基礎から中級編の講習会を開催しました。

講習会は、本支部役員である株式ズームスケープの小野徹氏と株式会社パスコの吉村充則氏が講師を務めました。午前の部は、デジタル写真測量の基礎知識、画像マッチングの基礎技術、および昨年の講習会で受講者の要望が多かった SfM (Structure from Motion) について説明しました。午後の部は、可視・近赤外リモートセンシングの基礎知識、画像の幾何学的特徴、および幾何的ひずみの補正処理について講義しました。その後、講習会のとりまとめとして質疑応答を行い、参加者から挙げられた質問を一つ一つ解説しました。最後に閉会のあいさつでは、本講習会のねらいを説明し、デジタル写真測量と衛星リモートセンシングに多くの共通する基礎技術が利用されていることや、目的に応じて色々な計測技術と解析技術が用いられていることを、本講義を通して学んでほしいと述べて、講習会を締めくくりました。講習会全体を通して、多くの参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

講習会終了後、測量系 CPD 協議会において認定された学習プログラム、および地理情報システム学会の GIS 上級技術者教育達成度履修ポイントに申請できる参加証が参加者に配付されました。

また、本講習会では、参加者の要望や講義内容・運営に対する改善点を明らかにし、次回以降の講習会に活かすことを目的にアンケート調査を実施しました。ご協力いただきました参加者の皆様には、この場を借りて感謝申しあげます。詳しいアンケート結果や感想は、寄せられた原文のまま以下の URL に公開しております。ぜひご覧ください。

<http://www.jsprs-w.org/training.php>

本支部では、引き続き 2018 年に「レーザ計測」・「地理情報システム(GIS)」の基礎から中級編を開催する予定です。なお、本講習会は、一般社団法人 地理情報システム学会 関西支部の後援により開催されました。ご協力いただきました皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



写真 1 講習会風景



写真 2 講習会を聞く参加者



写真 3 メモを取る参加者